

# 足元閣内生麻

# 「明るく強い国に」決意

## 少子化・小渕氏、総務・鳩山氏

自民党の麻生太郎総裁(68)は二十四日午後、衆院の首相指名選挙で第九十二代首相に選出され、同日夜に皇居で行われる任命式・認証式を経て自民、公明両党連立の麻生内閣が発足する。

麻生首相は官邸での就任記者会見で、「日本を明るく強い国にするのがわたしの使命。経験のすべてを尽くして難題に立ち向かう」と決意表明。通常は官房長官が行う閣僚名簿発表を自ら行った。

首相は十一月上旬にも想定する次期衆院選をにらみ、積極財政派の中川昭一元政調会長(55)を財務相に起用、金融担当相も兼務させ、財政と金融の一体的運営で景気回復に全力を挙げる姿勢を前面に打ち出した。

また戦後最年少閣僚となる小渕優子衆院議員(34)を少子化担当相、総裁選で知名度を上げた石破茂元防衛相(51)を農相に起用、与謝野馨経済財政担当相(70)を再

任するなど、選挙を意識したシフトを敷いた。

官房長官の河村建夫元文科相(65)ら首相と同じ文教関係議員と、中川氏ら総裁選の中核をなした麻生陣営幹部が多

く、盟友と論功を重視した色彩も強い。

首相は補正予算案を早期に成立させた上で選挙戦に臨む構えだが、解散時期に就任会見で「審議に野党にに応じていただけたかどうかを勘案して考

えたい」と述べた。二代続いた任期途中の首相退陣や年金記録問題などへの世論の批判は根強く、厳しい選挙戦を強いられそつだ。

総務相に鳩山邦夫元法相(60)、外相に中曽根弘文元文相(62)、行政改革担当相に甘利明元経済産業相(59)と主要ポストに安定感のあるベテランを配置し、後期高齢者医療制度見直しに向け続投させる舛添要一厚生労働相(59)や二階俊博経済産業相(69)、公明党の斉藤鉄夫環境相(56)ら再任も五人に上った。

### 麻生内閣の顔触れ

2008年9月24日認証式  
初任 再任

総理	麻生 太郎 68	国土交通	中山 成彬 65
総務	鳩山 邦夫 60	環境	齊藤 鉄夫 56
法務	森 英介 60	防衛	浜田 靖一 52
外務	中曽根 弘文 62	官房	河村 建夫 65
財務・金融	中川 昭一 55	国家公安	佐藤 勉 56
文部科学	塩谷 立 58	行政改革	甘利 明 59
厚生労働	舛添 要一 59	経済財政	与謝野 馨 70
農林水産	石破 茂 51	消費者行政	野田 聖子 48
経済産業	二階 俊博 69	少子化	小渕 優子 34

(敬称略)